

社会資本総合整備計画（防災・安全計画（北秋田市地域）） 事後評価書

平成28年 5月30日

計画の名称	社会資本総合整備計画（防災・安全計画（北秋田市地域））																						
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）					交付対象	北秋田市																
計画の目標	『安全で安心な生活空間の創出』 ・事前防災、減災対策による災害に強いまちづくり ・市民の命と暮らしを守る住まいづくり																						
計画の成果目標（定量的指標）	・住宅の耐震化率の割合を63%（H20）から72%（H27）に増加																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H20当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>① 市内における耐震性が確保された住宅の割合</td> <td>63%</td> <td>68%</td> <td>72%</td> <td></td> </tr> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H20当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	① 市内における耐震性が確保された住宅の割合	63%	68%	72%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																			
	当初現況値 (H20当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)																				
① 市内における耐震性が確保された住宅の割合	63%	68%	72%																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	0百万円	A	0百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%													

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 関係課にて実施	事後評価の実施時期 計画期間最終年度の平成27年度に実施 公表の方法 評価完了後、市のホームページへ掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1-A 地域住宅計画に基づく事業（基幹事業）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
													0		
合計												0			
A1-B 地域住宅計画に基づく事業（提案事業）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
													0		
合計												0			
A2 住環境整備事業（基幹事業）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
A2-1	住宅	一般	北秋田市	間接	民間	住宅・建築物安全ストック形成事業	木造住宅耐震診断 5戸/年	北秋田市						0	
合計												0			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
C-1	住宅	一般	北秋田市	間接	民間	木造住宅耐震改修等事業（耐震改修計画）	木造住宅耐震改修計画 2戸/年	北秋田市						0	
C-2	住宅	一般	北秋田市	間接	民間	木造住宅耐震改修等事業（耐震改修）	木造住宅耐震改修 2戸/年	北秋田市						0	
合計												0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C-1	住環境整備事業(A2-1)と一体的に行い、効率的に住宅の耐震化率を向上に資する。														
C-2	住環境整備事業(A2-1)と一体的に行い、効率的に住宅の耐震化率を向上に資する。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・木造住宅の耐震診断及び耐震改修に対して補助を行ったが、利用申請が無かった。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（市内における耐震性が確保された住宅の割合）	最終目標値	72%	目標値と実績値に差が出た要因 補助対象となる住宅は築30年以上経過していることとなるため、改修より解体を行われる方が多く見られた。
		最終実績値	63%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項（今後の方針等）				
・ 今後は事業の周知を徹底して行い、市民が安全に暮らせる災害に強い住環境を整備していく。				

計画の名称	社会資本総合整備計画（防災・安全計画（北秋田市地域））		
計画の期間	平成24年度～平成27年度	交付対象	北秋田市
事業の内容	A防災・安全計画に基づく事業（基幹事業）・（効果促進事業）		

